

響け念仏 北の大地に

2024  
(令和6)年  
10月号

# 本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL:0155(23)3720  
FAX:0155(21)4989 発行人:輪番・石川勝紀

別院ホームページ  
<http://www.betsuin.jp/> →



## 能登半島地震 災害ボランティア報告

新型コロナウイルスが5類になり初めてのお正月、  
実家に帰ることを楽しみにしていた方も大  
勢おられたでしょう。家族で久しぶりの近  
況報告をしていたかもしれない時、あの地  
震が発生しました。

令和6年1月1日、午後4時10分には最  
大震度7を観測するなど、石川県能登地方  
を中心に強い揺れが襲いました。

あれから8か月、私たちは被災地にボラ  
ンティアとして行かせていただきました。現  
地に入った第一印象は「被害があまりにも  
大きい」ということでした。大きく傾いた  
建物、液状化で隆起した地面、一階部分が潰  
れたままの住宅、津波に遭った住宅街。復旧・  
復興の見通しがまだ立たない中、それで  
も明るく振る舞う方々がおられました。

被災された地域は高齢者が多く、暑い夏  
の後は冬が来ます。一日も早く平穏が戻る  
ように、協力の手を止めることはできません。

### 10月のご案内

月例布教 1日～3日13時30分〈講堂〉

宗祖月忌法要 15日・16日6時30分〈本堂〉

秋季永代経法要 13日～16日13時〈本堂〉 布教使

東京教区  
鎌倉組善行寺 成田真二郎 師

### 11月のご案内

報恩講 13日～16日13時〈本堂〉

13日 布教使 北海道教区 十勝組妙覚寺 脇谷暁融 師

14日～16日 布教使 奈良教区 葛城中組教善寺 森田真円 師

令和6年能登半島地震により  
被災された皆さまに  
衷心よりお見舞い申しあげます

# 令和6年能登半島地震 災害ボランティア活動を通して

## 【報告】

帯広別院では渡邊副輪番と松原がボランティア活動のため現地に向いた。8月19日、小樽港17時発のフェリーで新潟港を経由し、陸路、石川県金沢別院内の浄土真宗本願寺派能登半島地震支援センターに到着したのは20日17時。現地ボランティアコーディネーター3名、一般参加者3名私たち2名の計8名で活動内容について打ち合わせを行った。

21日、2時間半かけて能登町へ。震災で大きく傾いた本堂を津波が襲い床上浸水した鳳珠組法栄寺さまを拠点に、法栄寺門徒5戸のお宅からお仏壇を搬出、解体した。西本願寺災害支援のトラックでお宅に到着すると、家を解体するためにお仏壇搬出を待っていたご門徒は安心した様

子で、「ありがとございます」と我々を迎えてくださった。お仏壇の搬出が済むと涙を浮かべて「ごめんなさい」と言われた。ご先祖から受け継いできた大切なお仏壇。悔やむ思いをかみしめた言葉に、大切に解体しなければとより一層思った。

22日午前中、前日に続いて能登町でお仏壇の解体と廃材搬出。昼から輪島市に移動し、被災地視察を行った。輪島市は震度7を観測し、市街地で大規模火災が発生した。賑わっていた朝市通りと周辺の建物は焼失し、ビルは倒れ、倒壊した家屋に車がつぶされたまま残っている。その様子は発災から8か月が経とうとしているとは到底思えないものだった。

気温33度を超える晴天で、朝から熱中症警戒アラートが出ている。20分ごとに10分の休憩をはさみ、15時まで続けた。作業後、やはり2時間半かけて金沢別院へ戻り、当日の報告と、翌日の作業打ち合わせを

震度はいつどこで起こるか分からない。今日かもしれないし明日かもしれない。今ここに手を合わせる場があるのは、いかにありがたいことなのだろう。お仏壇を迎えないお宅も増えているが、お仏壇はご先祖から引き継いだ心の拠り所。大切な方の願いに向き合えるのがお仏壇ではないのだろうか。 (松原)

熱中症警戒アラートが出ている。20分ごとに10分の休憩をはさみ、15時まで続けた。作業後、やはり2時間半かけて金沢別院へ戻り、当日の報告と、翌日の作業打ち合わせを

街地で大規模火災が発生した。賑わっていた朝市通りと周辺の建物は焼失し、ビルは倒れ、倒壊した家屋に車がつぶされたまま残っている。その様子は発災から8か月が経とうとしているとは到底思えないものだった。



倒壊したビルがそのままに。隣接した店舗で亡くなった方もある (輪島市)



崩壊した家屋、下敷きになった車もそのまま (輪島市)



お仏壇を屋外に出す



大切にされてきたお仏壇も解体せねばならない

帯広別院では事務所に「令和6年能登半島地震災害義援金」募金箱を設置しています。京都・本願寺でも募金を受けつけています。お問い合わせは別院・本願寺まで。皆さまのご協力をお願いします。

ご法話



文：津村拓也

慈愛くありがとうごじつといたただいて〜

子どもの頃、『一休さん』というアニメをよく見ていました。一休さんは実在の禅僧で一休宗純といいます。一休禅師さまは、本願寺派第8代宗主の蓮如上人さまに次のような歌を送られています。「阿弥陀如来に、まことの慈悲はあるのだろうか。なぜなら、たのむ衆生だけを救うのであれば、たのまない衆生は救わないことになるではないか」。

蓮如さまは、次のような歌を返しておられます。「阿弥陀如来の慈悲の光は、誰のものにもへだてなく平等に届いています。ちょうどお月さまの光のように、でも、救われるべき私たちがフタをしてしまえば、その光も届きません。自分勝手な思いで聞くのであれば、阿弥陀如来の救いを疑っていることになり、ますますそうではなく、阿弥陀如来の慈愛の呼び声をそのまま聞いて、阿弥陀如来の救いにまかせる姿がご信心です。そこに救われる喜びがあります」。

「弥陀の慈愛は親の愛 親の愛は弥陀の慈愛とよく似たり」という言葉が、とあるお寺の掲示板にありました。子どもの頃は、親の愛を時には嫌い、反発をします。しかし、自分が親となり、子どもを育てるようになった時、親が亡くなりその愛を受けられなくなった時、親の愛が絶え間なく注がれていたことに気づいた時、その慈愛がよろこびと感謝に変わります。

お浄土へ生まれ弥陀一仏となったご先祖の方やお知り合いの方を忍び、いつも見守ってくださいに感謝して少欲知足の日々を送りましょう。

10月 オススメの一冊



『きりかぶのきりじいちゃん』

なかやみわ作／小学館  
B12取判／36頁  
税込1320円

一本の木がありました。若いころは、花を咲かせ、木陰をつくり、雨宿りの傘となり、みんなの役に立っていました。年をとり、切られて「きりかぶ」になりました。きりかぶは「すっかり やくたたずになっちゃった」としょんぼり。そこへ、うさぎ、こりす、あり、こねずみ、はりねずみが次々に訪ねてきて「あなたをかりてもいいですか?」。きりかぶは「いいですよ。こんなわたしでよければ、どうぞ」。きりかぶはみんなの遊び相手になり、遊び道具になり、助言をし、元気になりました。どんな立場におかれても、みんなの声を聞くと、自分が必要とされると気付かされるものです。

(後藤)

永代経懇志ご進納

(ご進納日 8月15日～9月14日)

## 令和6年帯広別院 報恩講日程

帯広別院では親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦勞を通じて阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく報恩講をおつとめします。

布教には次の方々にお越しいただきます。

●布教使

協谷暁融師(北海道教区 十勝組 妙覚寺)

森田眞円師(奈良教区 葛城中組 教善寺)

11月13日(水)			
午後1時	逮夜	正信念仏偈作法	布教30分1席(協谷師)
2時30分		御伝鈔(上巻)	
4時	初夜	正信偈 草譜六首引き	布教20分1席(協谷師)
11月14日(木)			
午前6時30分	晨朝	礼讃日没偈	布教10分1席(森田師)
10時	日中	二門偈作法	布教30分1席(森田師)
午後1時	逮夜	大師影供作法	布教30分1席(森田師)
2時30分		御伝鈔(下巻)	
4時	初夜	正信偈 草譜六首引き	布教20分1席(森田師)
11月15日(金)			
午前6時30分	晨朝	礼讃初夜偈	布教10分1席(森田師)
10時	日中	奉讃大師作法	布教30分1席(森田師)
午後1時	大逮夜	役員表彰 五会念仏作法	
4時	初夜	正信偈 草譜六首引き	布教20分1席(森田師)
11月16日(土)			
午前6時30分	晨朝	正信偈 行譜六首引き	布教10分1席(森田師)
10時	満日中	宗祖讃仰作法	布教30分1席(森田師)

自他ともにたい  
せつな言葉紹介 **人我兼利**じんがけんり

わかっちゃいるけど

やめられねえ

爆発的に大ヒットした昭和のコミックソング「スーダラ節」にもあるこの言葉。

これを歌った植木等さんは幼少期をお寺で過ごし、上京して僧侶の修行もされました。

僧侶だった父親は、わかっちゃいるけどやめられねえには親鸞聖人の教えに通じるものがある、と言われたそうです。

仏となる命をいただきながら、煩惱を捨てることができず到底仏道精進がかなわない私です。

その私を救いの目当てとしている阿弥陀如来の「撰取不捨(おさめとつて捨てることはない)」のお心を味あわせていただきます。  
(石川)